

2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）

法律学科・地域環境政策学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理)

【選択科目：倫 理】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

法律学科・地域環境政策学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理) 【倫 理】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の各文章を読み、後の問いに答えなさい。

- (A) (①) の弟子であり、また(ア)アリストテレスの師であるプラトンは、理性によってのみ捉えられる普遍的なものをイデアと呼んだ。また、プラトンは、魂を理性、(②)、(③) の3つの部分に分け(魂の三分説)、それぞれを3つの徳に対応させる考えを示した。これら3つの徳と魂全体に関わる徳は、合わせて(イ)四元徳と呼ばれ、ギリシャ人の生き方の基本とされた。
- (B) イスラエル人がシナイ山で神ヤハウエから授かった十戒は、神の命令と掟である(④)(トーラー)の典型である。(④)に従う限り、神に選ばれた民として救済を約束されるとする考えを(⑤)思想という。
- (C) キリスト教は、4世紀末にローマ帝国の国教となった。キリスト教の教義の確立に努めた人々は教父と呼ばれた。代表的な教父としてアウグスティヌスを挙げることができる。アウグスティヌスは、信仰、(⑥)、愛というキリスト教の三元徳を、ギリシアの四元徳より上位に位置付けた。また、世界の歴史を(ウ)「神の国」と「地の国」の対立として把握し、キリスト教思想を論じた。

問1 上の各文章(A)～(C)の(①)から(⑥)に入る最も適当な人名あるいは語句をそれぞれ答えなさい。(各2点)

問2 以下の語群から、(ア)アリストテレスの著作を2つ選び記号で答えなさい。(順不同可、各1点)

- | | |
|----------------|-----------------|
| (a) 『饗宴』 | (b) 『パイドン』 |
| (c) 『オイディプス王』 | (d) 『ソクラテスの思い出』 |
| (e) 『形而上学』 | (f) 『クリトン』 |
| (g) 『ニコマコス倫理学』 | |

問3 下線部(イ)四元徳を漢字2字で4つ答えなさい。(順不同可、各2点)

問4 下線部(ウ)「神の国」と「地の国」は、アウグスティヌスによってそれぞれどのようなものとして把握されたか。「神」「人間」「愛」という言葉を用いて60字以内で説明しなさい。
(5点)

Ⅱ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1946年に公布（翌年施行）されて以来、〔 ① 〕は今日まで、わが国の法規範の根幹をなしてきたと言えるが、そこには、「すべて国民は、〔 ② 〕として尊重される」（第13条）とともに「法の下に〔 ③ 〕であって…性別…により政治的、経済的または社会的関係において、〔 ④ 〕されない」（第14条）ことがうたわれている。つまり、「〔 ② 〕の尊厳」とともに「〔 ⑤ 〕の本質的〔 ③ 〕」（第24条）が強調されている。しかし、そうした精神がわが国社会の中で実質的に実現されていくには、かなりの時間がかかった（現在もなお、十分とは言えない）。たとえば、高度成長期を通じて女性の〔 ⑥ 〕は大幅に進み、女性の〔 ⑦ 〕は労働人口全体の4割を超えるまでになったが、企業や職場における採用・昇進・給与の面で女性の〔 ④ 〕は、依然として根強いものがあつた。こうした事態を改善するために、1986年に施行されたのが〔 ⑧ 〕である。この法は当初は〔 ⑨ 〕がうたわれているに過ぎず、強制力を持たなかったため、1999年に〔 ⑩ 〕を設けたものと改正された。さらに同年、これまで長く続いてきたわが国の「男は仕事、女は家庭」のような、固定的な〔 ⑪ 〕ではなく、性別に関わりなく各人が互いに個性と能力を発揮できる社会をめざした〔 ⑫ 〕が制定された。こうした法律などの後押しもあって、ようやく最近のわが国では女性たちがさまざまな分野で活躍する時代が訪れつつあるが、それでもまだ先進各国と比較すると、各種議会における議員数、企業や職場における管理職の割合などにおいて女性の占める割合は低いままであり、こうした事態を打開するためには、〔 ⑬ 〕など積極的な是正策の導入が求められている。

問1 上の文中の〔 ① 〕～〔 ⑬ 〕に入るのにもっとも適当な語句・人名を、次の語群の中から選んで、記号で答えなさい。なお、同じ丸数字には同じものが入り、同じ語句・人名が異なる丸数字に入ることはないものとする。（各1点）

【語群】

あ・アフーマティブ・アクション	い・アフォーダンス	う・育児介護休業法
え・機械的義務	お・禁止規定	か・個人
く・ジェンダー・イクオリティー	け・ジェンダー・フリー	き・差別
さ・社会進出	し・就業者数	こ・世界女性会議
そ・専業主婦化	た・大日本帝国憲法	せ・性別役割分担
つ・男女雇用機会均等法	ち・男女共同参画社会基本法	
な・人間	て・努力義務	と・日本国憲法
	に・非雇用者数	ぬ・平等
		ね・両性

問2 男女同権や女性解放を説く思想を一般に何と言うか、カタカナ6字で書きなさい。（2点）

Ⅲ. 次の各人名ともっとも関係のあるものを、A群・B群・C群からそれぞれ一つずつ選んで、記号で書きなさい。同じ記号を2度以上使用してもよい。(各1点)

- | | | | |
|---|-------------------|--------------------------------------|-----------|
| (1) ウルストンクラフト | (2) JS ミル | (3) ボーボワール | (4) エンゲルス |
| A群 あ・16世紀の人
お・20世紀の人 | い・17世紀の人 | う・18世紀の人 | え・19世紀の人 |
| B群 あ・フランス人
お・イタリア人 | い・ドイツ人
か・オランダ人 | う・イギリス人
き・スペイン人 | え・アメリカ人 |
| C群 あ・『家族・私有財産・国家の起源』
う・『女性の隷属（解放）』
お・『性の歴史』 | か・『第二の性』 | い・『女性の権利の擁護』
え・『性の弁証法』
き・『婦人論』 | |

Ⅳ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

老子は、万物を生み出し、その存在を成り立たせているものを〔 ① 〕と呼んだ。〔 ① 〕は分析以前の根源的な、名付けようのないものという意味で、〔 ② 〕でもあるという。万物は〔 ② 〕から生じて〔 ② 〕に帰る。この運動は永遠に繰り返され、すべてのものは変転する。したがって、人間がつくった道徳や文化などは相対的なものにすぎない。このことから老子は、〔 ③ 〕を祖とする儒家の教える道徳を、世が乱れたためにやむを得ず説かれたものに過ぎないとして批判した。老子にとって賢明な生き方とは、a 世俗への執着心を捨て、常に人の下手に出て人と争わず、また、b 作為をろうせずあるがままに生きることであった。そして、c そのように生きられる農村共同体程度の小国家こそ理想社会であると説いた。

このような老子の考え方をさらに徹底して、心の平安と自由の境地に至る方法を説いたのが莊子である。莊子は、d ありのままの世界は、本来、万物が平等でひと齊しい世界であると考える。そして、功績や名声など自己への執着と分別の心から人間の苦しみが生まれるとし、こうしたことから自由となり、虚心となって〔 ① 〕に逆らうことなく、与えられた寿命をまっとうする人を〔 ④ 〕と呼んで、生き方の理想とした。

問1 上の文章の〔 ① 〕～〔 ④ 〕に最もよくあてはまる語句または人名を記入しなさい。
(各2点)

問2 下線部 a～d の事柄を老子および莊子は何と呼んだか。いずれも漢字四文字で記入しなさい。(各3点)

問3 莊子による説話「胡蝶の夢」の概要を80字以内で記述しなさい。(7点)

V. 次の文章を読んで空欄（ 1 ）～（ 7 ）に最も当てはまる語句を記入しなさい。（各2点）

- 1、（ 1 ）保護法とは、不良な子孫の出生を防止し、母体の健康を保護することを目的として、1948年に施行され、遺伝性疾患や（ 2 ）病、精神障害などを理由に不妊手術や中絶を認めた。これは遺伝的差別を正当化する（ 1 ）思想に基づくものであり、当時、本人の同意なく強制的に不妊手術をされるなどの問題が生じた負の歴史もあった。沖縄県でも（ 2 ）病の療養施設沖縄愛楽園で強制的な不妊手術が行われてきたという証言がある。1996年に（ 1 ）思想に基づく部分を削除した「母体保護法」に改正している。
- 2、レイチェル・カーソンは、著書『（ 3 ）』の中で、DDTなどの農薬が生態系に及ぼす深刻な危害について警告した。農作物の生産性を高めるための農薬により、長期的にみると生態系内での生物間のつながりである（ 4 ）を通じて、人間を含む多くの生物が有害物質に汚染される危険性を指摘した。
- 3、日本では、（ 5 ）人に1人が65歳以上の高齢者である超高齢社会に突入したと言われている。高齢者介護の考え方は、施設や病院での介護から「介護の社会化」という考えに変化し、2000年に（ 6 ）制度がスタートした。これは個々の要介護度に応じて作成されたケアプランに基づき、様々な在宅サービスが受けられる制度である。
- 4、青年期について、心理学者レヴィンは、大人と子どもとの微妙な重なり合いの上にたつという意味から（ 7 ）とよんだ。

VI. NEETとはどのような意味か説明しなさい。また、その問題に対してどのように対策するのかあなたの考えを60字以内で述べなさい。（5点）